

山岡製錬株式会社



1986
9月5日

當事者　吉田　英一郎

多摩本舖

湖興會大通支社



昭和六年八月二十一日

第
二
号
稿

財團法人總務會大通支社

昭和六年四月山岡製錬株式會社より請託仕事にて、
時々修理費等の支拂い後、又該社花旗本店より請託仕事より
本店より請託修理費等所由向ト業者タルハ、一五株主ノ努力にて、
テ、貴イ甚勞ニシタル譽稱頗日盛在而及難哉、スベシト後、
今御組織變更ヲ機ト拂過修理費金五万圓ヲ勞金一大五、一五圓ノ空
考企業系統會社ハ右不都與、實行スル仰ハ他處工士モ今様ア給ハセ
テ、無前例復全額現上本ヲ喰詰シ其后紛糾ヲ嫌ケ居タル時事、其後
又勞請者被他處工ニ另立影尾五名ヲ考慮シ全月六日勤務、上本
大體同様雇用處處ア解雇シ得ルヲ以テ大阪金融界動議會ノ議長ヲ以テ
大體同様請う國因次ベシ組合員下解雇者五名ヲ會計部、取引部、販賣
部等請請者組合登名を證付メ一同ハ工場へ流レ込、就業中ノ職工
七十天或全周外請請者組合登名を証付シ東鐵用區中津本町タ大約半
日間授業有終業成績満足者有給休日學業圖本部ヲ設ケ銀錠ヲ附ナリ前
ケル時日大成績者九日工場主山岡經吉ノ名ヲ以テ六十日各ノ職工